

流動動向調査および重要関係指標の時系列推移

Table with multiple columns: 種 (Period), 全鉄連産連通品3品目総合 (Total Iron and Steel Production), 販売量 (Sales Volume), 在庫量 (Inventory), 在庫率 (Inventory Rate), 全鉄連産連通品3品種 (3 Types of Iron and Steel Production), 全品種 (All Types), 販売店 (Sales Stores), 粗鋼生産 (Crude Steel Production), 小棒 (Small Rods), H形鋼 (H-Beam). Rows include monthly and quarterly data from 1996 to 2009.

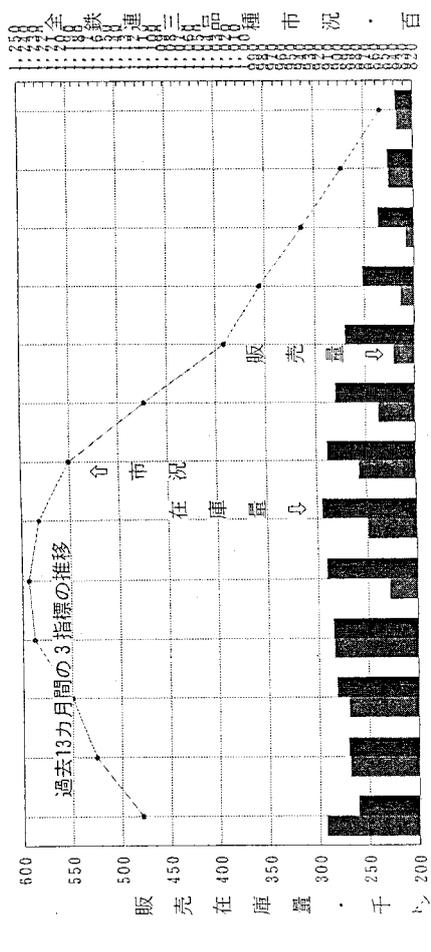
※販売店収益動向(D-1)は毎月の各地区業況アンケート結果・問3より。(注変更)

7ヶ月連続在庫減少も需要減に追いつかず (2009年 4月)

4月の仕入れ量は206.978トン前月比-4.1%前年同月比-25.7%。販売量は216.255トン前月比-4.0%前年同月比-26.2%。仕入れ・販売共に前月比減少、前年同月比でも共に25%ほどの落ち込みで、量と価格双方の急落状態が続いています。新年度に入り、一部品種には底感が見えてきたものもあり、悪いながらも落ち着きを取り戻したようですが、採算回復にはほど遠い状況です。一方、在庫量は216.931トンの前月比-4.1%前年同月比-16.8%、昨年10月以来7カ月連続減少、在庫率は100.3ポイントで前月のほぼ横ばい。歯抜けも散見されますが、需要不足の現状からあえて手当てせず、との方針のようです。

品種別では異形棒鋼が5.0%減少、大阪11.3%の普減、愛知1.9%増加と3地区3様の結果でした。H形鋼は4.3%減少、東京9.0%減少、大阪4.8%増加、愛知16.9%の普減とこれも3地区で異なる動き。その他品種は山形鋼3.0%、溝形鋼1.0%、コラム2.8%と3品種で減少。C形鋼は4.0%増加。

異形棒鋼は2.3%減少、東京1.1%、大阪6.2%、愛知1.3%と3地区共に減少しています。H形鋼は7.1%減少、東京4.1%減少、大阪14.3%の普減、愛知は2.0%増加しています。その他品種では山形鋼0.8%の微減、溝形鋼は3.0%、コラム4.0%、C形鋼4.4%と3品種で減少しています。



- 20/4 仮需一服も市況は緩伸模様
- 5 仮需反動局面採算性は確保
- 6 再値上げ控えての仮需なし
- 7 店売り市場閑散、鉄屑反落
- 8 鉄屑大幅下落販売数量激減
- 9 鉄屑更に下落、市況下押し
- 10 需要不振顕著、不況感募る
- 11 需要総崩れ在庫調整進まず
- 12 販売激減市況総落在庫率増
- 21/1 在庫調整進捗も市況下押し
- 2 市況総落、販売不振深刻化
- 3 市況下落止まらず市場混乱
- 4 底遠い高況続き、採算悪化